

令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	よしだ ひろかず		
氏名	吉田 博一		
所属・役職	元大阪公立大学 情報戦略課 課長代理		
活動拠点	大阪		
略歴	<p>1983年から2019年まで大阪府で以下の所属に勤務 企画部情報管理課、大阪府立成人病センター、土木部土木監理課、商工部新産業振興課、建築都市部建築都市総務課、契約局契約総務課、大阪府立中央図書館、政策企画部危機管理室消防防災課、財務部税務局税政課、総務部IT推進課、大阪府立大学新法人設立準備室</p> <p>2019年から2022年3月まで大阪公立大学情報戦略課課長代理 (2022年3月までは大阪府立大学、2022年4月より大学統合)</p> <p>2009年から2014年まで摂南大学経営情報学部 非常勤講師</p>		
地域情報化の専門分野・技術	<p>システム調達 セキュリティ 自治体クラウド 計画策定支援(地域情報化計画等)</p> <p>防災システム オープンガバメント</p>		
専門分野	<p>計画策定支援(地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等) 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム</p>		
自治体向けメッセージ	<p>大阪府で様々な自治体システムの構築に関わってきました。また、市町村の情報化のお手伝いもさせて頂きました。これらの経験を少しでもお役に立てればと思います。</p>		
関連サイト			
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>【システム構築】 大学統合に伴う情報基盤システム、自治体セキュリティクラウド、団体内統合宛名システム、税務電算システム、防災情報システム、図書館情報システム、電子調達(電子入札等)システム、インターネットデータセンター整備・電子商取引実証実験、土木積算システム、病院情報システム ほか</p> <p>【著書】 「電子自治体実践ガイドブック IT変革期の課題と対応策」2014年日本加除出版株式会社(共著)(執筆箇所 オープンガバメント)</p> <p>【研究論文】 地方自治体におけるライフサイクルを取り入れた情報システムのIT投資効果モデル(摂南大学経営情報学部論集, 2008)ほか</p> <p>【講演】</p>	

		<p>2012 年近畿総合通信局安心・安全公共コモンズ普及促進セミナー講師ほか 【NPO 等役職】 特定非営利活動法人関西情報化維新協議会 理事 特定非営利活動法人日本システム監査人協会 顧問 システム監査学会 理事 【自治体アドバイザー】 2015 年から 2017 年まで 東大阪市 有識者委員</p>
<p>これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト</p>		<p>○住民向け防災情報システムの再構築 防災情報を多様な手段で伝達するため、ポータルサイト、メールに加え、 緊急速報メール(エリアメール)や L-ALERT (公共情報コモンズ)、J-ALERT (全 国瞬時警報システム)を活用したシステムを府と市町村と共同で開始した。</p> <p>○「かんさい生活情報ネットワーク」構築及び運営組織の設立 災害時の被害状況や復旧見込みの情報の迅速な共有を行うシステムを NHK 大阪 放送局と共同でライフライン事業者等の協力を得て、構築した。</p> <p>○セキュリティ強靱化対策や自治体セキュリティクラウド等の構築 マイナンバー導入に際して、国から要請があった市町村セキュリティ強靱化対 策や市町村と共同でインターネットの監視等を行う自治体セキュリティクラウ ドを導入し、必要な対策をオプションで採用できるようにし、市町村の要望に 応じたきめ細かな対応を行った。</p> <p>○自治体クラウドの取り組み 市町村のニーズを集め、大阪府内で初めて本格的な自治体クラウドの導入の支 援を行った。</p>